

F U L L S P E E D

i n t e r n a t i o n a l

*Corporate Presentation*

2010.9.14

2010年7月期本決算説明資料

(2009年8月-2010年7月)

■ I – Fullspeed Message 総括		■ III – Earnings Forecast 2011年7月期業績計画	
01. 2010年7月期 総括①	3	01. 2011年7月期業績計画（単体）	19
01. 2010年7月期 総括②	4	02. 2011年7月期業績計画（連結）	20
■ II – Financial Results 2010年7月期決算報告		03. 2011年7月期 重点施策	21
01. 2010年7月期決算 連結業績サマリー①	6	04. 2011年7月期 配当について	22
02. 2010年7月期決算 連結業績サマリー②	7	■ IV – Alliance フリービット株式会社との資本・業務提携	
03. 2010年7月期通期業績予想の修正に至った要因	8	01. フリービット株式会社との資本業務提携について①	24
04. 2010年7月期連結決算概要 – 対前年同期比	9	02. フリービット株式会社との資本業務提携について②	25
05. 連結決算概要① – 事業セグメント別売上高の推移	10	■ V – Mid-Term Plan フルススピード中期経営計画	
06. 連結決算概要② – 事業セグメント別収益構成	11	01. フルススピード中期経営計画	27
07. 連結決算概要③ – 貸借対照表の概況	12	■ Appendix① 参考データ	
08. 事業別概況① – 有料会員制サービス「フルスピードクラブ」	13	社員数の推移	29
09. 事業別概況② – Web戦略支援事業:SEO・リスティング広告	14	株主保有状況1:2010年7月31日現在	30
10. 事業別概況③ – アフィリエイト広告事業	15	株主保有状況2:2010年8月16日現在（臨時株主総会基準日）	31
11. 事業別概況④ – EC事業/データセンター事業	16	■ Appendix② 中期経営計画について	
12. 事業別概況⑤ – その他広告代理事業/アパレル事業	17	中期経営計画の骨子	33

# I . Fullspeed Message

総括

## 2010年7月期 総括 ①

**<ビジネスモデル>**  
プラットフォーム型への転換の実現**短期間で有料会員制サービス「フルスピードクラブ」を当社の中核事業として育成することに成功**

- 2010年1月以降、グループ全体で会員獲得に向けた取り組みを実行。高い収益性と顧客第一主義を両立する業界初の画期的なサービスを実現
- 期中に営業手法を確立した結果、第4四半期より会員数の増加ペースは好調に推移。今後大きく収益貢献する見込み

**<財務・会計>**  
収益回復に向けたコスト削減および会計処理における施策の実行**徹底したコスト削減に向けた取り組みと保守的な会計処理による今期中の濃み出しを実現。2011年7月期の収益回復がほぼ確実に**

- 次期(2011年7月期)の大幅なコスト削減を狙い、本社オフィス縮小などの大規模なコスト削減施策を推進
- 第4四半期においては、過去の投資先等の有価証券を可能な限り保守的に再評価し、特別損失を計上することにより、懸念材料を払拭

## 2010年7月期 総括 ②

## &lt;M&amp;A戦略&gt;

事業の選択と集中の推進

ノンコア事業等の早期売却により、本業に関連性の高いビジネス／潜在的な成長性が高いビジネスに対し、集中的な資源投入を実施

- EC事業を縮小するなど、不採算事業の整理が進む
- さらに、経営資源を注力事業に集中させるため、一部事業・子会社株式の売却を実行(現在も施策継続中)

## &lt;アライアンス戦略&gt;

フリービット株式会社(3843)との資本・業務提携を実現

IPv6&仮想化によるクラウドプラットフォーム提供を事業ドメインとするフリービットとの提携(当社株式50.3%を取得し、8月16日より当社の親会社)により、事業シナジーと経営体制強化を実現

- 現在、フリービットグループとの間で、協働サービス提供の早期実現のため、シナジー創出施策を多数平行して検討・進行中。  
2011年7月期より、両社の業績に大きく貢献する予定
- 経営体制の強化策も順調に進行中  
(9月17日の臨時株主総会において新任役員を選任し、新体制を確立する予定)

## &lt;海外展開&gt;

アジア圏でのSEM／アフィリエイト広告ビジネスの展開準備

当社の国内における収益回復が確実になった段階で、既に中国で高いプレゼンスをもつフリービットとの協働により、高い成長性を見込めるアジア圏での事業展開を計画

## II . Financial Results

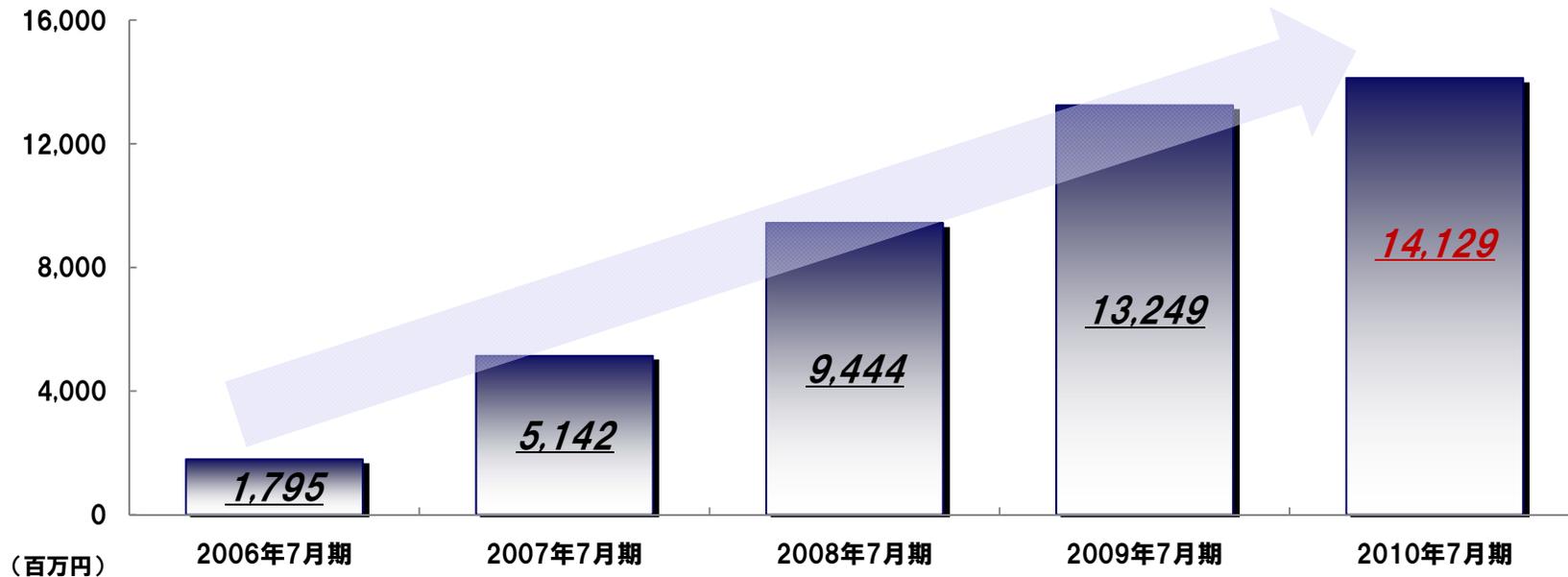
2010年7月期 決算報告

2010年7月期決算 連結業績サマリー ①

収益の概況 ①

売上高の増減要因

- 既存事業において、主には、アフィリエイト広告の受注量増加が寄与
- 今期買収したアパレル事業を運営するギルドコーポレーション株式会社の連結子会社化も寄与し、**前年同期比6.6%増**  
(今期はギルドの4カ月分の収益しか取り込んでいないこと、また秋冬物の販売額のウェイトが大きいことから、**次期に収益貢献する予定**)



## 収益の概況 ②

売上総利益の増減要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アフィリエイト広告事業およびアパレル事業などの貢献により、 <b>売上総利益は前年同期比8.1%増</b></li> </ul>
営業利益／経常利益の増減要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>● グループ全体の徹底したコスト管理に成功したものの、一部の大きな貸倒や、ギルドコーポレーションの子会社化に伴い販管費は一時的に増加</li> <li>● <b>下期における販管費の増加により、2010年7月期通期の結果は営業利益／経常利益ともに損失を計上</b></li> </ul>
当期利益の増減要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 主に財務体質改善策の一環として営業外費用、特別損失を計上したことなどが影響し、当期純損失1,651百万円を計上 (2010年9月8日付で通期業績予想を修正→本決算資料P.8で解説)</li> </ul>

## 次期収益に関する重要な事項

## ■ 「フルスピードクラブ」事業の収益貢献

- 2010年1月より開始した「フルスピードクラブ」の会員数は順調に拡大中。次期から本格的に収益に寄与

## 業績修正の主な要因

## ■ 2010年6月11日公表の通期業績予想を修正した主な要因

## ① アパレル事業の売上高が計画を下回ったことにより、見込んでいた売上総利益が確保できなかった

- アパレル事業において、季節要因および気候による影響を受けたことが要因
- 秋冬物の販売は回復する予定

## ② 2010年6月28日付で売却した子会社の販管費の増加

- 第4四半期において、売却した子会社(株式会社DSC)の貸倒引当金を計上する必要が生じたことが要因
- 既に株式会社DSCは売却済みであるため、一時的な事象

## ③ 第4四半期において、投資有価証券評価損などの特別損失を計上

- 投資先を保守的に再評価し、投資有価証券評価損121百万円を計上
- その他保守的に評価できる資産や、次期に発生する見込みの損失を可能な限り特別損失として計上

## ■ 当社単体の当期純利益以外の業績は、ほぼ計画どおりの結果に

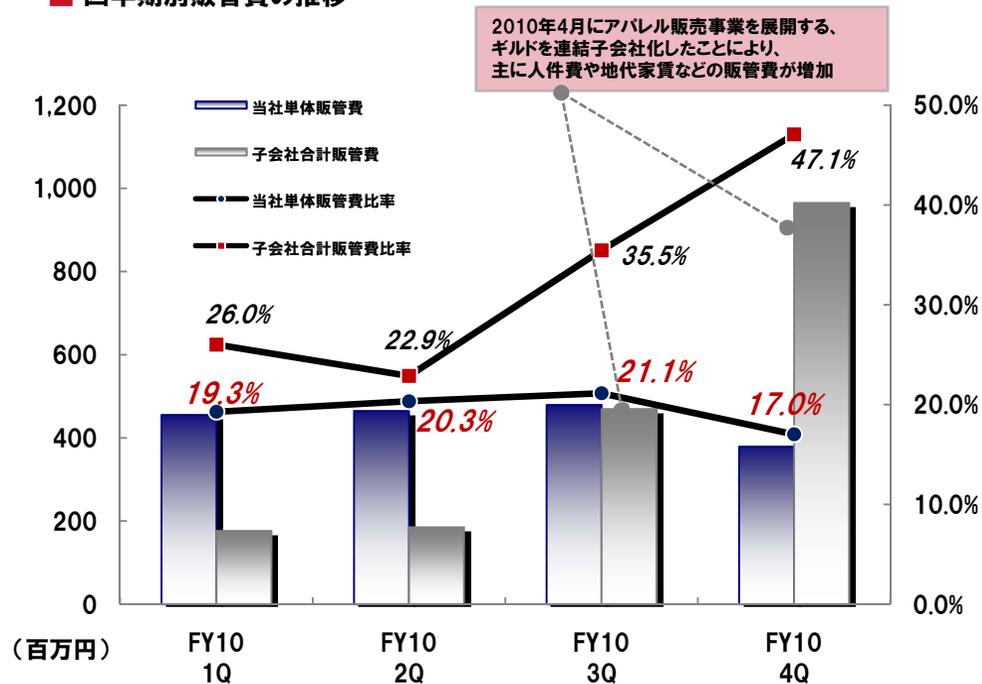
- 「フルスピードクラブ」の会員数が順調に増加
- アフィリエイト広告等の各種商材の販売が順調に推移

【単位:百万円、以下切捨て】

	2009/7	2010/7	前年同期比
売上高	13,249	14,129	+6.6%
売上総利益	3,337	3,608	+8.1%
売上総利益率	25.2%	25.5%	
販管費	2,694	3,876	+43.9%
販管費率	20.3%	27.4%	
営業利益	642	△268	-
営業利益率	4.9%	-	
経常利益	613	△421	-
経常利益率	4.6%	-	
当期純利益	105	△1,651	-
当期純利益率	0.8%	-	

徹底したコスト削減を実施した結果、  
貸倒引当金などの想定外のコスト増や子会社の販管費を除けば、  
恒常的に必要な販管費(特に当社単体)は、一層の削減に成功  
次期から、地代家賃の削減効果等により、さらに低減する見込み

■ 四半期別販管費の推移



(注)販管費額の算出について

2010年7月期は、想定外の事象で貸倒引当金繰入額が増加したため、販管費総額(公表値)から、貸倒引当金繰入額を除外した金額で比較しています。

【単位：百万円、以下切捨て】

事業セグメント	2009/7		2010/7		前年同期比
	金額	構成比	金額	構成比	
SEO	1,809	13.7%	1,263	8.9%	-30.2%
リスティング広告	5,261	39.7%	4,406	31.2%	-16.2%
その他広告代理	316	2.4%	369	2.6%	+17.0%
付加サービス	251	1.8%	196	1.4%	-21.9%
Web戦略支援事業	7,638	57.6%	6,236	44.1%	-18.3%
アフィリエイト広告事業	1,915	14.5%	2,420	17.1%	+26.4%
Webサイト運営・販売	362	2.7%	4	0.0%	-98.7%
EC合計	1,387	10.5%	1,139	8.1%	-17.9%
法人向けEC	-	-	389	2.8%	-
消費者向けEC	-	-	749	5.3%	-
インターネットメディア事業	1,750	13.2%	1,143	8.1%	-34.7%
データセンター事業	649	4.9%	676	4.8%	+4.2%
その他広告代理事業	275	2.0%	1,198	8.5%	+335.6%
アパレル事業	-	-	1,501	10.6%	-
その他事業	1,053	8.0%	1,008	7.2%	-4.3%
消去又は全社	△32	-0.2%	△56	-0.4%	-
連結合計	13,249	100.0%	14,129	100.0%	+6.6%

■ 第3四半期より変更したセグメント区分の表記

- ① ギルドコーポレーション株式会社が運営するアパレル製造・販売事業をアパレル事業
- ② 株式会社DSCが行う土業専門の広告代理などWeb以外の広告代理事業をその他広告代理事業

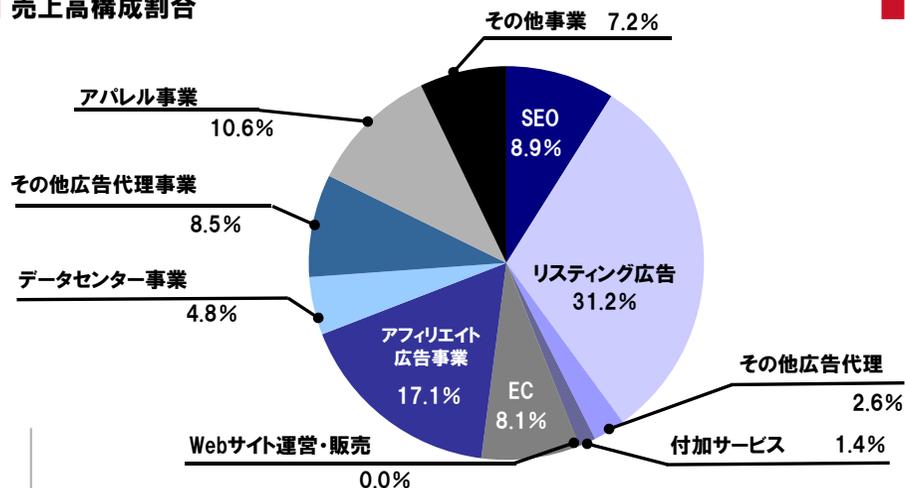
-2010年6月28日付で当社が保有していた株式会社DSCの全株式の譲渡が完了し、2010年7月より同社は当社の連結対象外に

連結決算概要② - 事業セグメント別収益構成

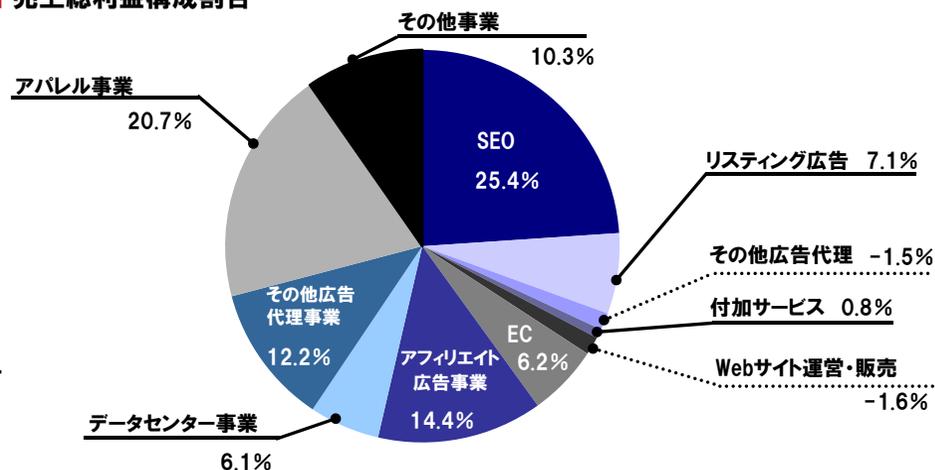
【単位:百万円、以下切捨て】

事業セグメント	売上高	構成比	売上総利益	売上総利益率	売上総利益構成比
SEO	1,263	8.9%	917	72.6%	25.4%
リスティング広告	4,406	31.2%	254	5.8%	7.1%
その他広告代理	369	2.6%	△53	-	-1.5%
付加サービス	196	1.4%	29	14.9%	0.8%
Web戦略支援事業	6,236	44.1%	1,147	18.4%	31.8%
アフィリエイト広告事業	2,420	17.1%	519	21.5%	14.4%
Webサイト運営・販売	4	0.0%	△57	-	-1.6%
EC合計	1,139	8.1%	223	19.7%	6.2%
法人向けEC	389	2.8%	81	20.9%	2.3%
消費者向けEC	749	5.3%	142	19.0%	3.9%
インターネットメディア事業	1,143	8.1%	166	14.6%	4.6%
データセンター事業	676	4.8%	221	32.7%	6.1%
その他広告代理事業	1,198	8.5%	440	36.8%	12.2%
アパレル事業	1,501	10.6%	745	49.7%	20.7%
その他事業	1,008	7.2%	370	36.8%	10.3%
消去又は全社	△56	-0.4%	△3	6.6%	-0.1%
連結合計	14,129	100.0%	3,608	25.5%	100.0%

■ 売上高構成割合



■ 売上総利益構成割合



【単位：百万円、以下切捨て】

■ 資産の部

	2009/7 (期末)	2010/4 (3Q末①)	2010/7 (期末②)	増減 (②-①)
現金及び預金	1,680	1,352	1,405	+53
売掛金	1,942	2,223	1,845	-378
未収入金	115	82	118	+36
商品	80	418	282	-136
その他	469	445	254	-191
流動資産合計	4,286	4,520	3,904	-616
建物（純額）	233	347	322	-25
工具器具備品（純額）	270	279	265	-14
土地	172	172	172	0
その他（純額）	11	104	100	-4
有形固定資産	686	902	859	-43
のれん	837	2,614	2,385	-229
その他	103	82	64	-18
無形固定資産	940	2,696	2,449	-247
投資有価証券	1,431	628	330	-298
差入保証金	467	683	666	-17
繰延税金資産	54	87	70	-17
その他	162	149	76	-73
投資その他の資産	2,114	1,547	1,142	-405
固定資産合計	3,742	5,146	4,452	-694
総資産	8,028	9,666	8,356	-1,310

・子会社(株式会社DSC)の売却による減少

・アパレル事業の商品評価損および  
子会社(株式会社DSC)の売却に伴う減少

・主にECサイトの減損損失の計上による減少

・投資有価証券評価損の計上

■ 負債・純資産の部

	2009/7 (期末)	2010/4 (3Q末①)	2010/7 (期末②)	増減 (②-①)
買掛金	922	1,591	1,724	+133
短期借入金	2,550	2,595	2,434	-161
1年内返済長期借入金	394	741	718	-23
未払金	177	284	397	+113
未払法人税等	108	368	126	-242
その他	90	374	209	-165
流動負債合計	4,241	5,953	5,608	-345
長期借入金	670	1,369	1,188	-181
その他	131	313	247	-66
固定負債合計	801	1,682	1,435	-247
負債合計	5,042	7,636	7,044	-592
資本金	691	697	697	+0
資本剰余金	662	668	668	+0
利益剰余金	1,527	365	-180	-545
株主資本合計	2,880	1,731	1,184	-547
純資産合計	2,985	2,030	1,312	-718
負債純資産合計	8,028	9,666	8,356	-1,310

・アフィリエイト広告事業の受注量が増加したことに伴う増加

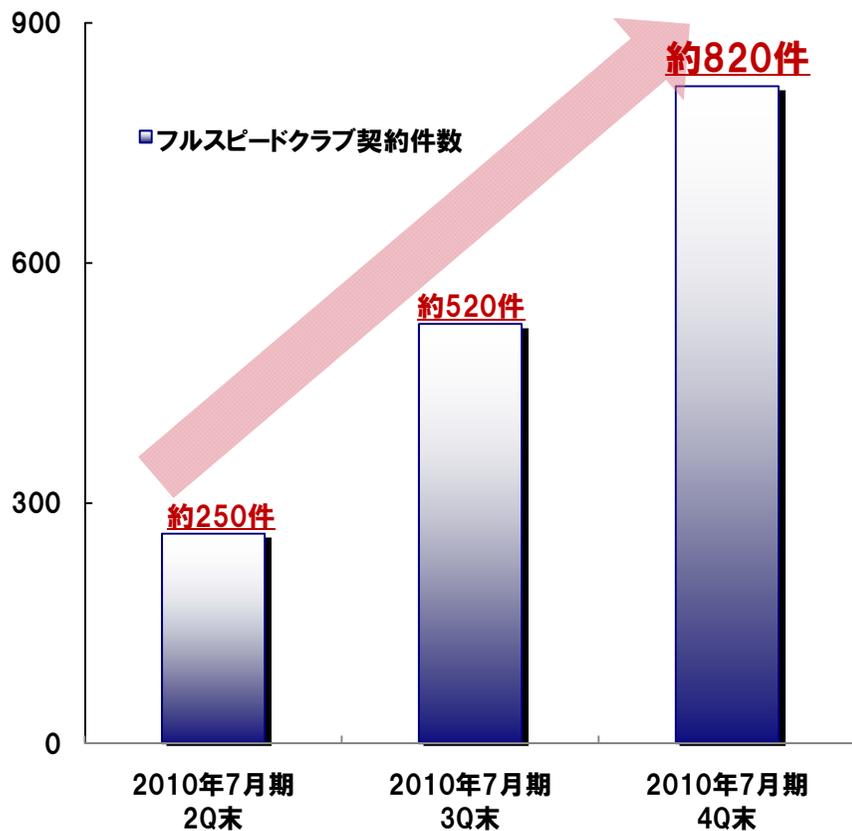
・銀行への返済および子会社(株式会社DSC)の売却に伴う減少

・第4四半期における四半期純損失計上による減少

「フルスピードクラブ」の進捗状況

■ 「フルスピードクラブ」契約件数の推移

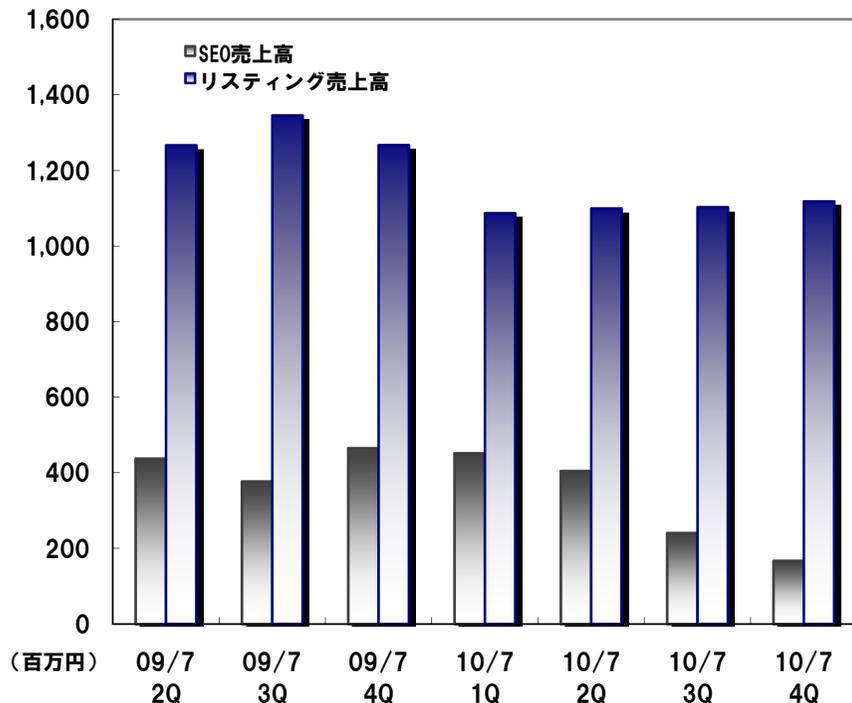
■ 事業概況



- ・ 「フルスピードクラブ」の営業活動も軌道に乗り、第4四半期からは確実に契約件数が増加
- ・ 積み上げ型ビジネスにより、受注に遅れず売上高も増加する見込み
- ・ 営業スタイルも確立し、営業人員の育成が着実に進む

SEO・リスティング広告の動向

■ 四半期別売上の推移



■ 事業概況

- ・「フルスピードクラブ」を中心とした営業活動を展開した結果、各商材への影響が顕著に
- ・SEO売上の減少は、「フルスピードクラブ」の営業活動に注力し、単品での販売活動を控えたことによるもの
- ・リスティング広告売上の増加は、「フルスピードクラブ」に入会したことで、初めて利用する企業が多かったことによるもの

■ SEO受注キーワード数の推移

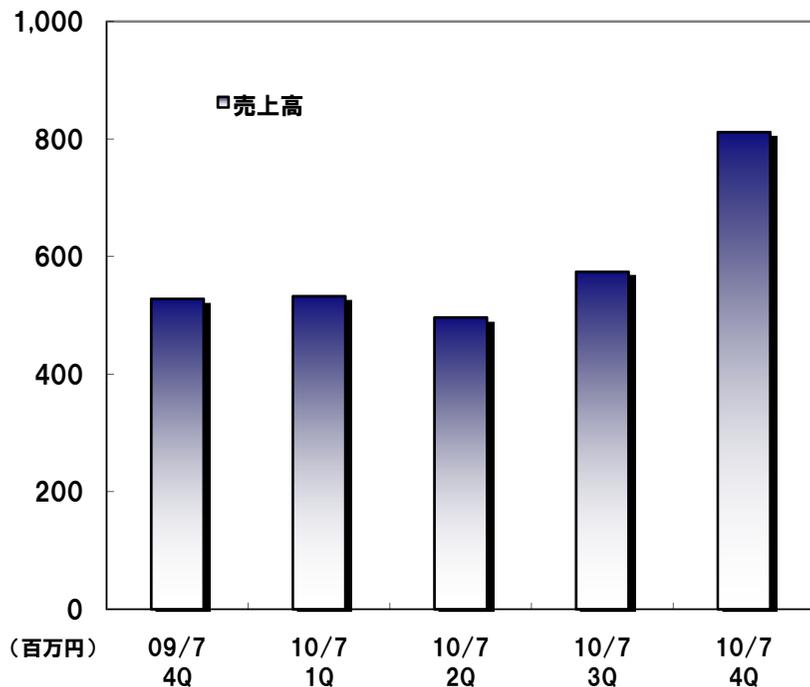
09/7-4Q	10/7-1Q	10/7-2Q	10/7-3Q	10/7-4Q
3,049	3,014	2,430	1,869	1,620

■ リスティング広告アカウント数の推移

09/7-4Q	10/7-1Q	10/7-2Q	10/7-3Q	10/7-4Q
1,939	2,100	2,277	2,426	2,651

アフィリエイト広告の動向

■ 四半期別売上高の推移



■ 事業概況

- ・独自の営業展開や、代理販売の積極活用などアフィリエイト広告事業の分社化が奏功し、受注量が増大
- ・業界特有の事象により、取引動向の影響を受けるものの、物販などの新たな顧客群が順調に拡大  
(次期に、FX業界の規制強化による影響を受ける可能性も)
- ・業界における競争力を高めることで、引き続き、市場シェアの拡大を狙う

■ プロモーション数の推移

09/7-4Q	10/7-1Q	10/7-2Q	10/7-3Q	10/7-4Q
1,712	1,992	2,312	2,566	2,790

■ 提携サイト数の推移

09/7-4Q	10/7-1Q	10/7-2Q	10/7-3Q	10/7-4Q
59,596	65,406	72,700	81,027	86,758

## EC(法人向け/消費者向け)の状況

- EC事業は縮小の方向、法人向けECの運営はほぼ撤退へ
  - ・ 第3四半期中に保有している全ECサイトを対象に再評価を実施、減損損失を計上（今後はサイト自体を売却していく方針）
- 子会社である(株)ベッコアメ・インターネットが運営する消費者向けECおよびモバイルEC運営受託は順調に推移
  - ・ 2010年7月より家電を扱うECサイトも加わり、合計3サイト(自社運営による)の消費者向けECを運営

## データセンター事業の状況（連結子会社:株式会社ベッコアメ・インターネット）

- 2010年7月期期末現在の稼働率は71.3%（3Q末:70.0%）
  - ・ 新規顧客の開拓が奏功し、受注は回復の兆し
  - ・ コンテンツプロバイダーからの受注が増加傾向
  - ・ フリービットとの提携により、今後はインフラコストの削減を図るほか、事業展開がより加速する見込み
- 特にホスティングの需要は引き続き堅調に推移
  - ・ 付加価値の高いホスティングサービスの提供による新たな需要の掘り起こしに注力  
（顧客の仕様ごとにサービスのカスタマイズ、ソリューションサービスのセット販売 等）

### その他広告代理事業の状況

- 弁護士、司法書士などの士業専門の広告代理業を行う株式会社DSCの売上が主
- 2010年6月28日付でDSC株式を売却し、7月からは同社は連結対象外に

### アパレル事業の状況（連結子会社：ギルドコーポレーション株式会社）

- 春夏物商品の販売に苦戦
    - ・ 季節要因(もともと春夏が弱く秋冬に強い)に加え、一時的な企画の失敗で売上が当初予定よりも減少
    - ・ 販売が不調だったため、想定以上の商品評価損を計上する結果となり、売上総利益にも影響
  - 連結の販管費が大幅に増加した主な要因は、アパレル事業の開始が起因
    - ・ 2010年7月末時点のギルド店舗数:33店
    - ・ 2010年7月末時点のギルドの従業員数:253名(アルバイト含む)
- ※ 2010年4月1日より連結対象となり、2010年7月期決算には4カ月分を計上

### III. Earnings Forecast

2011年7月期業績計画

## 2011年7月期 単体業績計画

## 「フルスピードクラブ」事業が順調に成長するとともに、利益を積み上げる計画

	第2四半期累計期			通期		
	2010/7 2Q累計	2011/7 2Q累計		2010/7通期	2011/7通期	
	実績	計画	前年同期比	実績	計画	前年同期比
(単位:百万円)						
売上高	4,771	3,997	-16.2%	9,266	8,376	-9.6%
営業利益	150	74	-50.7%	△175	355	-
営業利益率	3.1%	1.9%		-	4.2%	
経常利益	128	53	-58.2%	△302	304	-
経常利益率	2.7%	1.3%		-	3.6%	
当期純利益	△508	53	-	△1,448	238	-
当期純利益率	-	1.3%		-	2.8%	
1株あたり当期純利益(円)	△3,560.28	373.83		△10,131.07	1,663.40	

(ご参考)

当社は、広告媒体などの販売代理を行う商材については、顧客が支払う金額(取扱高の総額)を売上に計上する会計基準を採用しております。

親会社となったフリービットの売上計上基準(リスティング広告および純広告のみ純額)に則して算出した場合は、販売代理手数料のみが売上高となります。

この基準で、単体売上高の通期予想値を算出した場合、4,729百万円となります。なお、各利益の数値は変わりません。

「フルスピードクラブ」事業を中心とした収益基盤を確立  
確実に利益を積み上げ、通期では前年比で大幅に増益

## 2011年7月期 連結業績計画

アパレル事業の季節特性などが影響し、連結では上期に利益が偏重

	第2四半期累計期			通期		
	2010/7 2Q累計	2011/7 2Q累計		2010/7通期	2011/7通期	
	実績	計画	前年同期比	実績	計画	前年同期比
(単位:百万円)						
売上高	6,260	9,545	+52.5%	14,129	18,256	+29.2%
営業利益	247	582	+135.6%	△268	869	-
営業利益率	3.9%	6.1%		-	4.8%	
経常利益	237	553	+133.1%	△421	818	-
経常利益率	3.8%	5.8%		-	4.5%	
当期純利益	△505	145	-	△1,651	250	-
当期純利益率	-	1.5%		-	1.4%	
1株あたり当期純利益(円)	△3,539.64	1,011.81		△11,546.50	1,742.43	

(ご参考)

当社は、広告媒体などの販売代理を行う商材については、顧客が支払う金額(取扱高の総額)を売上に計上する会計基準を採用しております。

親会社となったフリービットの売上計上基準(リスティング広告および純広告のみ純額)に則して算出した場合は、販売代理手数料のみが売上高となります。

の基準で、連結売上高の通期予想値を算出した場合、14,682百万円となります。なお、各利益の数値は変わりません。

2011年7月期の最重要課題は、業績の急回復/収益基盤の安定化  
今期中に財務体質・収益力の改善を図り、四半期ごとに収益は回復基調へ

## 2011年7月期 具体的な取り組み

■ 「フルスピードクラブ」会員数の拡大

- 中核事業「フルスピードクラブ」の育成により、収益基盤を安定化

■ SEO、リスティング広告、アフィリエイト広告などの主力サービスの売上拡大■ 法人向けサービスの品質向上と充実

- より広範囲に、より深く顧客企業をサポートするため、サービスの質向上と充実に取り組む
- 親会社となったフリービットのサービスの代理販売や共同開発なども行う予定

■ グループ全体で全コスト(原価/販管費)を対象に徹底した管理を実施■ 「フルスピードクラブ」事業およびその周辺事業に経営資源を集中させるための体制整備

- 収益力の低いECサイトの売却を推進(2010年7月期第3四半期において減損損失を既に計上済み)
- 2011年7月期中に、ノンコア事業の位置づけを調整、方向性などを決定していく予定

### 利益配分の基本方針

- 株主に対する利益還元は重要な課題と認識し、内部留保による財務体質の強化を図りつつ、業績・財政状態の推移をみながら、決定していく方針
- 具体的な目標は、半期ごとの連結当期純利益に対する配当性向30%程度を維持すること

### 2011年7月期配当について

- 2011年7月期の配当は、有利子負債の削減など財務体質の改善が急務であるため、現時点においては無配とさせていただきます
- 2011年7月期の業績動向や財務状況の進捗次第で、早期に復配を実現してまいります

## IV. Alliance

フリービット株式会社との資本・業務提携

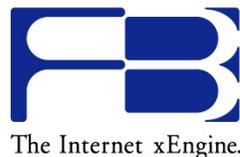
## フリービット株式会社との資本・業務提携契約の締結

■ 2010年6月28日付で、フリービット株式会社と資本・業務提携契約を締結

■ 資本・業務提携の一環として、当社株式の公開買付けが成立した結果、  
2010年8月16日付で72,204株(持株割合:50.3%)を保有する親会社に

(株式保有状況は本説明資料P.31を参照)

■ 今後はフリービットとの協業により、事業展開を加速  
両社の強みを活かし、グループとしてシナジー創出に向けた作業が進展  
早期に、具体的な施策を実行に移していく予定



## フリービット株式会社との業務提携により見込める当社のメリット

- I. フリービット社が提供する継続利用のインフラサービスを「フルスピードクラブ」のサービスに追加することで「フルスピードクラブ」サービスの充実が見込めること  
⇒ 継続利用のサービスが増えることは当社収益の安定化につながる
- II. ネットワークインフラ、サーバ運用リソースの共通化により、インフラコストの低減が見込めること  
⇒ より一層のコスト削減が進み、当社利益の拡大につながる
- III. 技術面を活かしたサービスの共同開発や、中国展開などを含めた新規事業の創出が可能になること  
⇒ 顧客ニーズに迅速に対応でき、法人向けサービスの質向上を継続的に行える環境が整う
- IV. インターネット関連事業者の顧客基盤を活用することで、営業機会の増大が見込めること  
⇒ 「フルスピードクラブ」などの当社の営業先として最適な販路が増える
- V. グループシナジーをより発揮するため、フリービットからの役員(候補)も経営参画することで、  
経営体制の強化が図れること

など

今回の資本・業務提携は、当社にとってプラスとなり、  
着実に、収益の拡大に寄与していく

## V. Mid-Term Plan

フルスピード中期経営計画

### 2011年7月期－2013年7月期における経営計画

【単位：百万円、以下切捨て】

	2011年7月期 (計画)	2012年7月期 (計画)	2013年7月期 (計画)
売上高	18,256	21,000	23,000
営業利益	869	1,450	1,900
経常利益	818	1,400	1,850

・2010年6月11日付で公表した計画値を  
現在の各事業の進捗を踏まえて、再度精査を行った結果、  
利益の計画値を修正

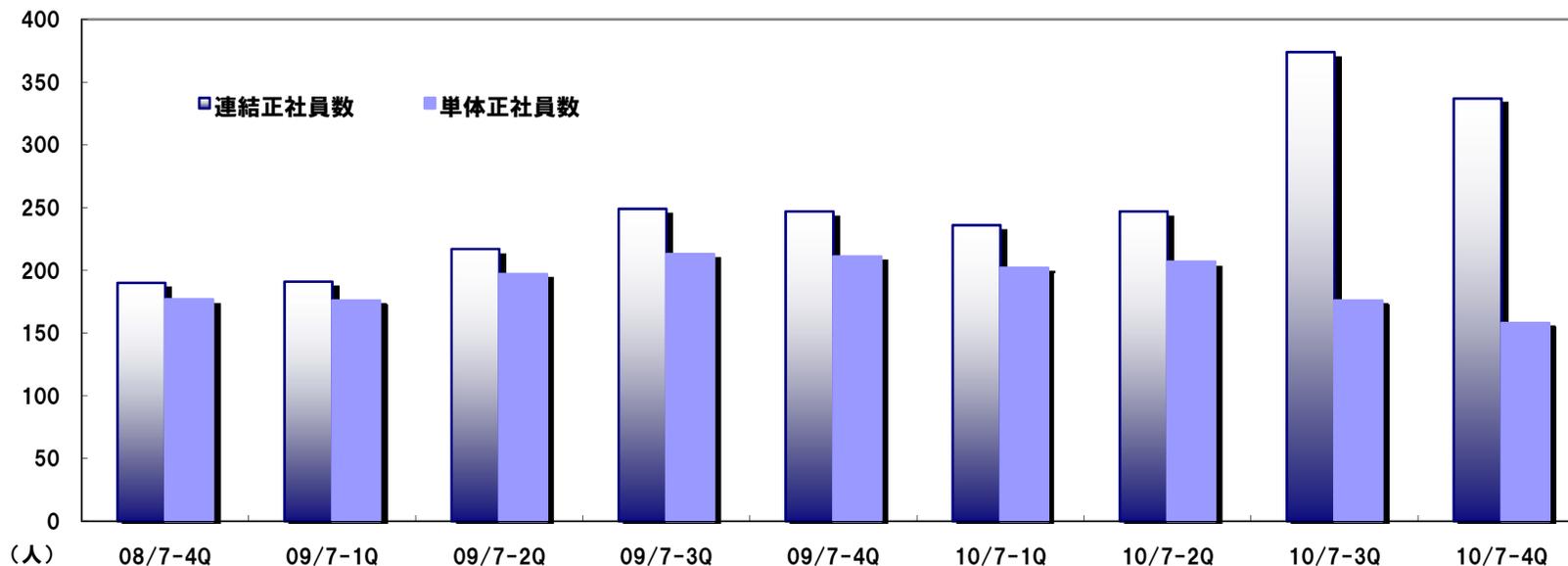
・2012年7月期以降の計画値は、修正せず  
(ノンコア事業の切り離しは前提としていない)



## Appendix ①

参考データ

## 社員数（連結・単体）の推移



## ■ 連結正社員数

08/7-4Q	09/7-1Q	09/7-2Q	09/7-3Q	09/7-4Q	10/7-1Q	10/7-2Q	10/7-3Q	10/7-4Q
190	191	217	249	247	236	247	374	337

## ■ 単体正社員数

08/7-4Q	09/7-1Q	09/7-2Q	09/7-3Q	09/7-4Q	10/7-1Q	10/7-2Q	10/7-3Q	10/7-4Q
177	176	197	213	211	202	207	176	158

(注)①連結正社員数の増減要因:2010年4月よりギルドコーポレーション株式会社が連結対象となったことに伴い、2010年7月期3Qの連結正社員数より、増加しています。  
また、2010年7月期4Qの連結社員数が3Qより減少している主な要因は、子会社(株式会社DSC)の売却によるものです。

②単体正社員数の算出方法:アフィリエイト広告事業の分社化(株式会社フォアイトの設立)に伴い、2010年7月期3Qよりアフィリエイト広告事業を担う事業部の人員を単体の社員数より除外して算出しています。

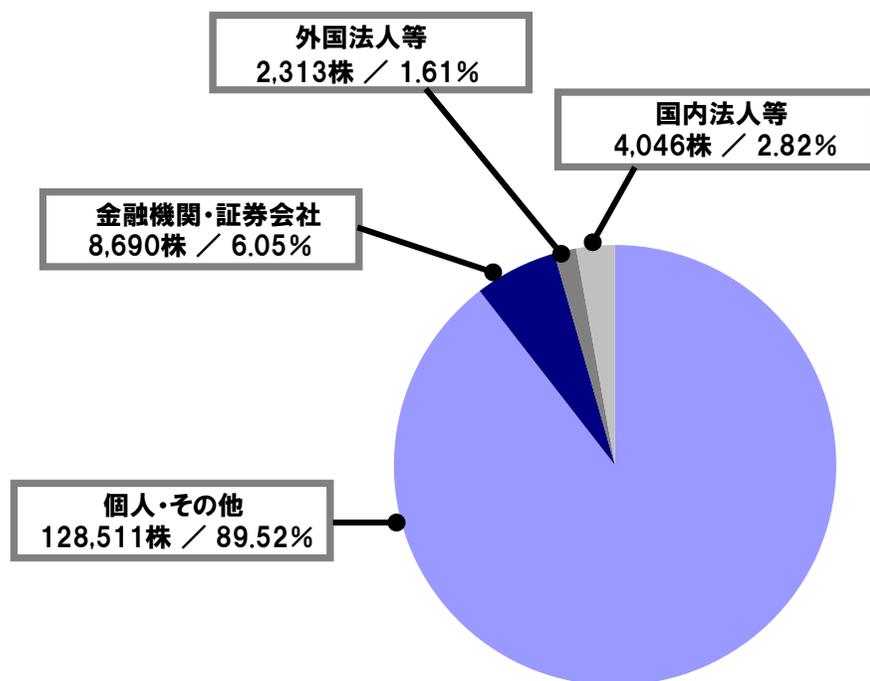
発行済株式の総数

143,560株

株主数

6,730名

## ■所有者別の状況



## ■大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
芳賀麻奈穂 (当社代表取締役社長)	68,238	47.53%
みずほ証券株式会社	5,933	4.13%
坂本剛 (当社元取締役)	2,004	1.40%
一般個人株主	1,810	1.26%
コムチュア株式会社	1,710	1.19%
ブルーピット株式会社	1,500	1.04%
一般個人株主	1,300	0.91%
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	794	0.55%
一般個人株主	691	0.48%
一般個人株主	650	0.45%

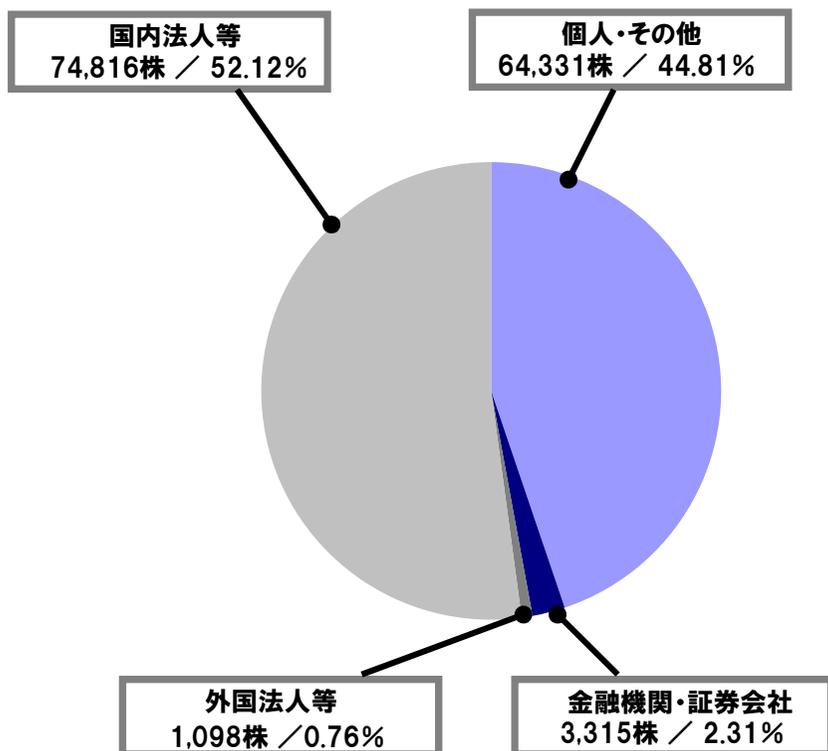
発行済株式の総数

143,560株

株主数

6,292名

## ■所有者別の状況



## ■大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	持株比率(%)
フリービット株式会社	72,204	50.30%
芳賀麻奈穂（当社代表取締役社長）	11,476	7.99%
坂本剛（当社元取締役）	2,004	1.40%
ブルービット株式会社	1,500	1.04%
一般個人株主	1,300	0.91%
みずほ証券株式会社	1,096	0.76%
一般個人株主	650	0.45%
一般個人株主	640	0.45%
辻準（当社取締役）	600	0.42%
大和証券株式会社	518	0.36%

（注）本株主保有状況は、2010年9月17日開催予定の臨時株主総会の基準日である2010年8月16日付で確定した株主名簿に基づいたものです。

## Appendix ②

中期経営計画について

## 中期経営計画の達成に向けた取り組みの骨子

**「収益力の強化」と「財務体質の改善・強化」****■ 今後の成長を支える事業の育成に注力**

- 中核事業「フルスピードクラブ」の育成により、収益基盤の安定化
- アフィリエイト、データセンター等の子会社も引き続き伸長

**■ 不採算事業の縮小**

- 利益のでない事業からの撤退

**■ 徹底したコスト削減の実施**

- 原価および販管費など全コスト対象。オフィス縮小などを含め、徹底

**■ 有利子負債の削減、バランスシートのスリム化**

- 保有資産の見直し
- 資産売却による現金化

## ■IRお問い合わせ先

管理本部 企画・IR部

TEL: 03-5728-4460 / FAX:03-5728-4461

E-mail: [ir@fullspeed.co.jp](mailto:ir@fullspeed.co.jp)

本資料は株式会社フルスピードに関する情報提供を目的とし、投資家の皆様にご理解いただくために作成したものであり、当社が発行する有価証券に対する投資を勧誘することを目的としたものではありません。  
本資料を作成するにあたっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。  
本資料中の情報によって生じた損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであり、その情報の正確性、完全性を保証し、また確約するものではありません。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることがあり、また予告なしに変更されることがある点を認識された上でご利用ください。